2021 オートバックス全日本カート選手権
OK 部門　第7戦＆8戦

開催場所　スポーツランド SUGO（宮城県）
開　催　日　10月16日・17日
参加台数　OK クラス31台（エントリー32台）
天　　候　土曜日　雨　/日曜日　雨→曇り
路面状況　土曜　レイン/日曜　レイン、ドライ

～INTREPID JAPAN CORSE～

監督　　：佐藤奨二
ドライバー　：佐藤凌音
メカニック　：伊藤進　/　仁科真一
エンジン担当：K SPEED WIN
アドバイザー　：井上寛之

2021 全日本カート選手権　第7＆8戦（スポーツランド SUGO）

つい先日開幕したと思った今シーズンの全日本カート選手権もはやくも後半戦。一足先に秋が訪れる東北は宮城県、スポーツランド SUGO にて第7＆8戦が行われる。西地域出身の佐藤、ここ SUGO は OK クラスに参戦するまで未経験のコースだったとあって、昨年までの成績は厳しい。3年目となり、いよいよ表彰台が欲しいところだ。事前のタイヤテストでは悪い感触はないものの、レースウィークの木曜日の走り出しからあまり調子があがらない・・・。前戦の茂原からドライ路面で急速にゴムがのる路面に苦戦が続く。昨シーズンからテーマにしている乗り方という面では、なかなか答えが出ない状況だ。しかし、幸か不幸か週末に向けて徐々に天気が崩れ出す。どうやらタイムトライアル、予選と続く土曜日からはしっかりとした雨が降るようだ。雨でできる練習とテストは土曜日午前中の 2 回の練習走行と、午後からの公式練習だけ。ドライバーは3年目としての経験。チームもここまでの経験を活かしたセット出しが求められる一戦となりそうだ。

佐藤 凌音 選手

【タイムトライアル】佐藤 A 組　9位(全体17位)

土曜日は予報通り未明から雨。霧雨のように降る雨だが、雨量は意外と多いように感じる。土曜日午前中の練習走行は、気温14℃。ドライコンディションほどではないが、タイムは全選手の真ん中ほど。動き的にももう少しグリップを上げれそうだ。チームはホイル等をより剛性の高い、ダグラス製アルミへと変更しながら公式練習、そしてタイムトライアルへと望む。タイムトライアルは抽選の結果 A 組。雨天時のタイムトライアルは A 組、B 組で雨量にも左右される運も必要な要素となる。A 組の佐藤、タイムトライアルの開始が伝えられる日章旗が振られると走行開始。佐藤は3周目に良いタイムを出すが、それ以降が伸びない。結局 A 組の9位、A 組 B 組を合わせた総合では17位と苦しい順位に。チームは更なるセットを行い、土曜日最後のレースとなる第7戦予選へ挑む。

【第7戦　予選】 佐藤23位(F スポイラー脱落ペナルティ)

第7戦の予選。このレースも雨量があり、前の茂原大会での雨による赤旗中断が少しフラッシュバック・・・。レースは 1 周のディレイの後スタート。佐藤のスタートはまずまず。前方の4コーナーでスピンが発生し、後続のマシンが追突してしまうアクシデントが発生。佐藤はこのマシンを上手くよけ10位へ。ここで先ほどのアクシデントのマシン排除が間に合わないと判断され、レースは全コーナーイエローフラッグで追い越し禁止、徐行となるニュートラリゼーションが発動。各車スピードを落とし2周の徐行となった。この間に上位で1台の選手が「かぶり」によりストップ。佐藤は自動的にポジションを上げる。レースはトップの選手が最終コーナーから立ち上がり再開。と、ここで佐藤の立ち上がりが悪く、数ポジションダウン。キャブを薄くするあまりに再スタートに合わせれなかったようだ・・・。そして焦った佐藤が4コーナーでオーバースピード・・・。スピンをしてしまう・・・。何とか押し掛けをしてエンジン再始動・・・。しかし今度は3コーナーでスピン、コースアウト・・・。完全に集中力が切れてしまいました・・・は、このクラスでは禁句だ。結果この予選は完走扱いの23位となった。

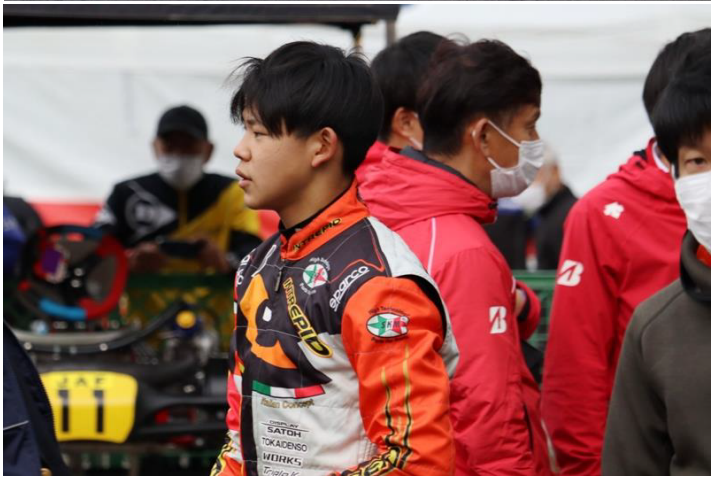
【第7戦　決勝】 佐藤13位

第7戦決勝も雨。レースはスタート直後にTOPグループの選手、中段の選手がスピンアウトする波乱の展開。佐藤は混乱を上手く抜け数ポジションアップ。その後は大きな混乱の展開はなく、佐藤も徐々にポジションアップ。13位にまでポジションをあげ、そこでゴール。まずまずとしか言いようがないレース。

【第8戦　予選】 佐藤3位

第8戦の予選。この予選レースの前ごろから雨脚が収まり、路面からは徐々に水気が引き始める。しかしタイヤはドライという微妙なコンディション・・・。佐藤は17位からのスタートだ。最初のスタートがミススタートとなり次周でスタート。しかしこのスタートの方がかなりばらけたスタート。しかし佐藤には好都合でポジションアップ。その後もマシンの動きが非常に良い。グリップも高く、稀に見る超完璧なドンピシャ Set を当てたようで、どんどんポジションアップ。17周の予選レース、佐藤は15周目でついに3位にまで来た。もちろんベストタイムは佐藤。のこり2周だが、TOP2は少し遠くここでゴールとなった。

【第8戦　決勝】 佐藤6位



第8戦の決勝。路面は完全なドライコンディションだ。つまりここで初めて新品のドライタイヤを装着することになる。3位スタートの佐藤、ここからはタイムだけではなくドライバー本人の強さが求められるレースとなる。シグナル消灯レーススタート。佐藤のスタートは悪くないように見えたが、他の選手が良すぎたのか1つポジションダウン、そして2コーナーはポジション取りライン取りも良くなく、さらにポジションダウン。しかしマシンの動きは良さそう。すぐにポジションを戻し、なんと強豪佐々木選手もパス。3位に浮上しさらに前を追う。その後もペース良く2位の選手に迫る佐藤。そしてついに4コーナーでパス！したものの行き過ぎてすぐに3位に後退・・・。0、2秒だけ2位に浮上したが、あまりにも精度が低いパスだ・・・。その後も後続に追いつかれ徐々にポジションを落とす佐藤、ついには5コーナー立ち上がりで派手にコースオフ・・・。その後は一進一退のレース展開で7位ゴール。しかし前方の選手にフロントスポイラー脱落ペナルティが発生し6位へと繰り上がった。このレース、練習走行やタイムトライアルの結果からすると良い結果とも言えますが、短期間でウェットとドライのセッティングを見つけ出し、特に第 8 戦の予選では稀に見るセットをしたチームにとっては辛い結果とも言えると思います。チームが出来るのは、押しがけして見送る所まで。残すは最終戦の第9＆10戦のみとなります。現在ランキングは12位。最終戦の茂木で3年目の全てをぶつけシリーズ上位を狙いたいところです。最後に今大会も温かい声援や、現地までお越し頂き応援頂いた皆様へ御礼申し上げます。最終戦で皆様へいい報告が出来るように、一生懸命頑張ります。最終戦も応援頂けると幸いです。ありがとうございました。

ドライバー　佐藤 凌音 コメント

今大会はレースウィークから確実に自信を持てるほど
ペースはなかったですが、その中でも自分の中でベストを
尽くして走りました。
まだレース面で詰めきれてない部分で勿体ない展開など
あったのでしっかりと改善して最終戦に挑みます。
今大会もスポンサー様をはじめ、応援して下さった皆様
ありがとうございました！

INTREPID JAPAN CORSE 佐藤奨二 監督

今大会にあたり、前戦茂原大会でかなり苦戦した問題点を
徹底的に見直し準備して挑みました。
肝心なタイムトライアルがあまり良くなく中団からの
スタートを余儀なくされ、そこから上位に上がることが
難しい中、第８戦の予選・決勝では本来持っている
スピードを示すことが出来たのは大変大きな収穫でした。
次戦はいよいよ最終戦ですので、今回の課題を修正して
全力で挑めるように努力し続けます。
最後にレース参戦にあたり、スポンサー様をはじめ
サポートして下さった方々に感謝致します。
次戦は良い報告が出来るよう一層努力致します。

INTREPID JAPAN レーシングチーム